

5

千葉市デジタル平和資料館の開設

昭和20年(1945年)6月10日と7月7日の2度にわたる千葉市への大空襲(千葉空襲)、そして同年8月15日、ポツダム宣言の受諾により太平洋戦争が終結してから今年で80年となります。戦後、市民の英知の結集とたゆみない努力により、千葉市は大都市に成長しましたが、年月の経過に伴い、甚大な被害を受けた千葉空襲を始めとした悲惨な戦争の記憶の風化が危ぶまれています。

悲惨な戦争の記憶を風化させないよう、戦後80年の節目にあたり「千葉市デジタル平和資料館(WEB上の資料館)」を令和7年6月10日に開設しました。

WEB上の資料館とすることで、場所や時間を問わず資料や戦災体験談などを閲覧できるほか、小学生向けの情報を掲載するなど全世代にご覧いただける資料館となることを目指して構築しました。本冊子には掲載しきれない資料等を多数掲載していますので、この機会に千葉市デジタル平和資料館をご覧ください、戦争の悲惨さと平和の尊さを考えてみましょう。



パソコン版
千葉市デジタル平和資料館トップページ



スマートフォン版



千葉市デジタル平和資料館 検索

<https://www.city.chiba.jp/digitalheiba/>



空襲体験談(動画)

平成17年(2005年)に収録した10名の方の戦争体験談に加え、当資料館開設に際し、令和6年度に新たに収録した千葉空襲体験者5名の方の体験談と、令和6年(2024年)7月に実施した「戦災体験講話会」の様態を収めた動画を掲載しています。

新たに収録した動画では、千葉空襲についての体験談のほか、食生活や学校生活といった戦時下の暮らし、空襲後の生活などについて、体験者の皆様に語っていただきました。

千葉空襲写真パネル

毎年7月から8月にかけて開催している「千葉空襲写真パネル展」で実際に使用している各写真パネルや、写真パネルに掲載されている写真を使用したスライドショーがいつでもどこでも閲覧できるようになっています。



千葉空襲写真パネル展の様子



平和啓発ショートムービー



東京デザインテクノロジーセンター専門学校の皆様に、空襲体験談を基にした動画や、空襲の被害状況等が分かる動画を制作いただきました。

戦災資料

戦時中の品々を中心に千葉市で所有する約100点の戦災資料の画像を解説とともに掲載しています。

うち15点についてはオブジェクトVRも掲載しており、横回転(360度)させて自由な角度から閲覧することができます。



戦跡マップ

千葉市内に今も点在している戦跡等の写真や動画(制作協力:株式会社ジェイコム千葉)を、解説とともにご覧いただけます。

空襲体験紙芝居

ちば・戦争体験を伝える会が所有する、千葉空襲体験者の皆様が作成した紙芝居を動画にしました。



学ぶ (子ども向けコンテンツ)

今年^{くわしゅう}は千葉空襲・戦後 80 年！
小学生のみんなにも分かりやすい
説明やクイズもあるの
みんな、見てね～



花のあふれるまちづくりシンボルキャラクター ちはなちゃん

千葉空襲^{くわしゅう}や戦時中の暮らしなどについて
小学生向けにクイズなども通して
分かりやすく解説しています！

STEP 1

考える(クイズ)

STEP 2

答えて学ぶ

STEP 3

さらに詳しく学ぶ

何があったの？

こちらの2枚の絵は、昭和20年夏のころの千葉市のまちの様子です。なにがあったのでしょうか？



藤石永吉 氏「姓名は隠匿に準ず」(絵画) 千葉県立千葉女子高等学校蔵

答えは、空襲(くわしゅう)によってやけた学校のあとの絵です。

千葉市はアメリカ合衆国(がっしゅうこく)との戦争(せんそう)で2度の大空襲(だいくわしゅう)をうけました。さっきの絵はそのあとの千葉市のまちの様子の一部です。

①6月10日(391人)

②7月7日(1,204人)

①内はししゅうしゃ数

特に2回目の7月7日の空襲は、七夕空襲とよばれています。



空襲→空軍から目ように対してばくだんの投下などを行うこと

千葉空襲

千葉市は空襲でどのような被害(ひがい)を受けたのでしょうか？

昭和20年(1945年)、東京・大阪・名古屋などの大都市が空襲を受けました。6月に入ると地方の中小都市も空襲の対象になり、特に軍の基地や軍の関係の工場は空襲の目標になりました。千葉市への空襲も数度ありました(5月8日の日立航空機千葉工場への機銃掃射(きじゅうそうしや)など)。なかでも、千葉市を標的とした大きな空襲は、昭和20年(1945年)6月10日と7月7日(七夕空襲)です。

6月10日の空襲では27機のB29が上空から航空機工場や千葉の中心部をねらって爆弾を落としました。蘇我(そが)町1丁目では152名の人々が亡くなりました。7月7日の七夕空襲では、129機のB29がおもに焼夷弾(しょういだん)を使った空襲を行いました。

	昭和20年6月10日	昭和20年7月7日
概要(がいよう)	日立航空機千葉工場(現在のJFEスチール東日本製鉄所千葉地区付近)を目標とした爆弾(ばくだん)による攻撃(こうげき)でした。	七夕空襲と呼ばれ、中心市街地の大部分が焼夷弾(しょういだん)で焼きつくされました。
死傷者数(ししゅうしゃずう)	391人	1,204人
被災戸数(ひさいこすう)	415戸	8,489戸
被災面積(ひさいめんせき)	26ヘクタール 東京ドーム約6個分の広さ	205ヘクタール 東京ドーム約44個分の広さ

昭和20年の千葉市の人口は約97,000人でした。

これらの絵の場所には、昭和20年6月ころには左の写真のような校舎がたっていました。この校舎は、ある出来事とそれによっておこった火事ではなくなってしまいました。



千葉県立千葉高等学校の校舎(写真)

何が
あったの？

答えはこちら

千葉の空襲についてもっと知りたい時はこちら

もっと
知りたい！

戦時に配給されたお米は、玄米(げんまい)に近いお米でした。家庭では玄米を白米にするため、一升瓶(いっしょうびん)に玄米を入れ、はたきの柄(え)などの棒で米をつき白米にしていました。

玄米って何だろう？

みなさんがふだん食べているお米は、精白(※)されていて「白米」とよばれています。「玄米」とは、稲(いね)の実である「もみ」から「もみがら」を取り除いただけのもので、精白されていない状態の米のことをいいます。都市部に暮らす人々からは、玄米はもそもそしてまじいと不評だったそうです。

※精白…米をみがいて白くすること

当時の暮らしや
着るものについても
学べるよ！



そのほか平和の大切さを
伝えるコンテンツが
もりだくさん！！

※ここで紹介している画面は制作中のものであり、実際のものとは異なる場合があります。

千葉市デジタル平和資料館はこちらから→

